

《 思い出深い14年 》

私が「担ぎねぶた」というものに関わりを持ったのが今から14年前の夏。高校1年の夏休みでした。

同じ市内とはいえ、かなり市の端に住んでいた私にとって『ねぶた』というものは『小学生の夏休みの図画の題材』くらいのもので、囃子をやったこともなければ物心ついてからはロクに跳人で参加したことも無い、はっきり言えばそんなに興味のあるものではありませんでした。

そんな私が『担ぎねぶた』に携わるようになったきっかけ、それは『製作小屋へ先生に連れて行かれた』という至極簡単な理由。

夏休み中、部活で汗を流すか実習棟でパソコンをいじる位しか時間の使い道の無かった私にとって「いい暇つぶしができたなー！」という位だった担ぎねぶたとまさかこんなに長く付き合うことになるとは、本当に思ってもみませんでした。

しかし、ねぶたとの初対面を果たすも、その時のねぶたは完成に近い状態。「製作の全くの素人である自分は何の為にココに連れて来られたのだろう...」と困惑していると、私をその場所に連れてきた先生は笑顔でこう言いました。

「うん、千島(旧姓)は担ぎ手で頼むよ!!」

身長170cm、がっちり目の体格の私の役目...それは担ぎねぶたの担ぎ手でした...。今でこそ扇子持ちとしてねぶたを誘導していましたが、元々は担ぎ手だったんですね。

その年から、高校時代の3回と高校を卒業し『担ぎねぶた実行委員会』に籍を置いてからの数年間、雨でずぶ濡れになっても熱帯夜で汗だくになっても担ぎ手として参加していました。だいぶ前、結構長く付き合っている友人にそういう状態でねぶたに参加している事を話すと「えっ!!アンタが!？」言われました。自分でも根性が無いことは認識しているので、悲しいかなその質問をしたくなる友人の気持ちもわかります。ですが、肩を痛めたり雨に濡れて寒い思いをしながらも何故こうして続いていたのだろう?と自分で考えた時に思ったのは「やっぱり楽しいからだよね...」と言うこと。天下の国道4号と7号の真ん中を大手を振って歩ける、柳町から新町へ進入する時の高揚感、ねぶたを目の前まで連れて行った時の観客の歓声・拍手、終了の花火が上がって戻り囃子を聴きながら得られる達成感...その全てが私の『担ぎねぶたを続ける理由』でした。

数年前に運行方法が変更になり、『柳町から新町へ...』の点は無くなってしまいましたが、それでもやはり担ぎねぶたを続けていたのは観客への近さだったんじゃないかなあとと思います。

最後に、私事で『私にとっての担ぎねぶた運行』は昨年で終わってしまいましたが、設立からまだ10年ちょっとの若い団体であるこの『青森担ぎねぶた実行委員会』の勢いはまだまだ止まりません...が!!若いだけに皆さんからのご協力が必要です。今後とも、本当に宜しくお願い致します。

そして、今まで一緒に頑張ってくれたメンバーへ。「ありがとう!これからも頑張って!!」

【記：八木澤佳淑(旧姓：千島)】



【高欄の口ウ書きに挑戦】



【担ぎ手もやってみました】



【扇子持ちの凛々しい姿】

3月2日付で当会扇子持ちの八木澤佳淑(会員は皆、結婚後も旧姓の千島のままで呼んでいる)が主婦業専念のため退会した。千島は、当会が発足した年の翌年(平成9年)から制作や運行に関わってくれ、担ぎ手から扇子持ちへと轉身し、早何年経っただろう...。運行が終わる度、担ぎ手から悪い所ばかり指摘され、誉められた事は殆どなかったように私は記憶している。担ぎ手から色々と言われている様子を見ると「ちょっと言い方がキツイんじゃない?女の子なんだから、もう少し優しく言ってやれよ」って思う時も多々ありました。そんな担ぎ手からのキツイ指摘を受けながらも、めげずに扇子持ちを続けてくれた千島には感謝です。10人担ぎが8人担ぎへ、8人担ぎが4人担ぎへと年々規模が小さくなり、扇子持ちとしては物足りなくなってしまうんじゃないかな?千島との思い出は尽きない。寂しい限りである。さて、今夏は扇子持ち不在のまま運行になるのか...。

【記：高谷俊幸】

《 今年で囃子講習会開催 10 年！ まずは会員だけで練習会を開く！ 》

～ 昨年 11 月以来、約 5 ヶ月ぶりの囃子でもブランクは感じさせず... !? ～

今年で 10 年目を迎える当会囃子部会主催の「ねぶた囃子講習会」が 4 月 6 日（日）から、青森市荒川市民センターで始まった。

その開催を前にした 3 月 30 日（日）、会員だけで打合せを兼ねた練習会を行った。

当会が囃子講習会を前に会員だけの練習会を始めたのは去年から。講習会になると、受講生に教えるのが精一杯で自分達の技量を磨く時間も無く、進行囃子主体の講習会なので他の囃子（ころがしや戻り囃子）の練習が出来ないなどの理由から練習会を設けた。この日、参加した会員は 10 名。会員の中には、今年 1 月に西部市民センターで行われた「西部地区新春ねぶた囃子打ち初め会」や先月行われた「県高校演劇連盟創立 50 周年記念祝賀会の祝奏」で囃子を演奏している者もいるし、昨年 11 月の囃子講習会以来、約 5 ヶ月ぶりに笛や鉦、太鼓のバチを手にした者もいる。まずは、囃子講習会の進め方などを確認し、進行囃子へ。進行囃子は長年演奏しているだけあって、すぐに音合わせが出来た。

最近、当会は、様々な場所で囃子を演奏する機会が増えてきたのだが、そのような時に披露出来る囃子のレパートリーは少なく、いつも「集合 小屋出し 出発準備 進行囃子 ころがし 戻り囃子」という囃子の流れで、7 分も演奏を披露出来ればいい方...。という事で、ころがしや戻り囃子の練習を久し振りに行った。戻り囃子は、最初のタイミングが肝心で、三種（笛・鉦・太鼓）の出だしが合いにくいのだが、この日は難なく演奏出来た。次にころがし。当会のころがしは、青森郷土芸能ねぶた囃子保存会のころがしをアレンジした囃子で、普段聞き慣れているころがしに比べると手数が多し。そのため、太鼓と鉦が間違えやすい。案の定、太鼓と鉦は何人も間違っていた。やはり練習回数が少ないというブランクか...

今後、囃子講習会終了後に 10 分程度、会員だけでころがしを練習することに決め、この日の練習会を終えた。

【記：高谷俊幸】



《 今後の囃子講習会開催日程 》

【日 時】 第 2 回ねぶた囃子講習会 4 月 2 7 日（日） 午後 6 時から午後 7 時 3 0 分まで
第 3 回ねぶた囃子講習会 5 月 4 日（日） 午後 6 時から午後 7 時 3 0 分まで
第 4 回ねぶた囃子講習会 5 月 2 5 日（日） 午後 6 時から午後 7 時 3 0 分まで
第 5 回ねぶた囃子講習会 6 月 1 日（日） 午後 6 時から午後 7 時 3 0 分まで

【会 場】 青森市荒川市民センター（2 階：調理実習室ほか） 青森市荒川柴田 1 2 9 - 1 .017-739-2343

【その他】 受講料は無料です。
どなたでも自由に参加できますが、小学生以下の方は保護者同伴での参加をお願いします。
初めてねぶた囃子を始める方は、事前に笛・太鼓のバチ・手振り鉦を購入する必要はありません。
まずは、そのまま会場へお越し下さい。
会場の都合により、当日急に講習会が中止となる場合もありますので、ご了承下さい。

【問合せ】 青森担ぎねぶた実行委員会 高谷俊幸 090-2882-6554 まで *但し、番号非通知はつながりません。

発 行：青森担ぎねぶた実行委員会事務局広報部
編集責任者：高谷俊幸
編 集 者：佐々木誠治・飯田寛子・渡邊典子・白鳥愛美
事務局住所：〒030-0944 青森市筒井ハッ橋 11 番地
T E L：090-9531-8279（事務局：佐々木）
Home - Page：<http://homepage2.nifty.com/katugi>
m a i l：ao-katsuginebuta-ss511022@mbp.nifty.com

編集後記：今年の工業高校担ぎねぶたの題材が「西野・相川の合戦」に決まり、現在、部品制作が進んでいる。私の知識の中では、青森市富田二丁目付近（相野町会）の相野という名の由来（相川の相と西野の野）になった戦いと記憶している。工業高校担ぎねぶた 16 年目にして初の人物二体になる。顧問の先生曰く「いつもより小さめになるので、迫りに欠けないか心配。バランスも難しい...」との事。後輩達よ頑張れ！（高俊）